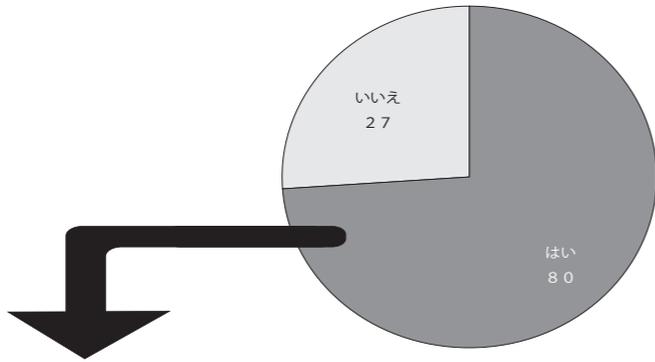
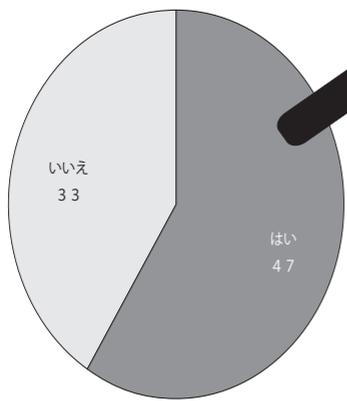


1 違法アップロード作品（書籍、音楽、映像など）を利用したことがあるか



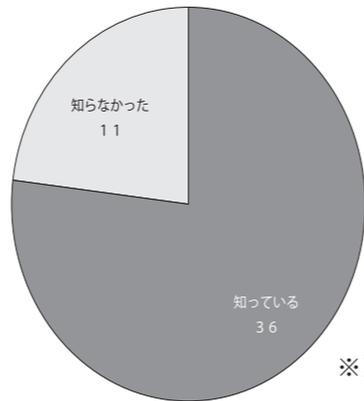
2-1 【1に該当する場合】

特に海賊版サイトを利用したことがあるか



2-2 【2-1に該当する場合】

そのサイトが海賊版だということを知っていたか



※当サークル調べ

違法アップロード作品を利用したことがある人は7割以上であり、昨今 YouTube など多くの作品が違法アップロードされている現状が影響していると考えられる。注目したいのは、海賊版サイトと知りながら利用していた割合が75%を超えている点だ。海賊版サイトに対する批判的な風潮が強いなかでも利用者が多いのはなぜだろうか。

これらの結果から海賊版サイトには多くの人が批判的な意見を持ちながらも、その利便性から利用者もまた多いのだと考えられる。

- ・権利が理不尽に失われていて、作家さんに失礼だと思う。
 - ・制作者の本来の収入が減り、芸術活動の縮小に影響を及ぼしかねない。
 - ・本が売れない時代に拍車をかけているように思われるから。
 - ・よくわからないので、利用するのが怖い。
- 【賛成】 16
- ・黙って使う分には問題ないと思う。
 - ・無料で読めるし、単純に見たい。
 - ・作品の知名度向上に繋がるから。
 - ・なんだかんだ便利なんです……。
- 【反対】 93

反対意見の多くは、制作側の利益や著作権の損害である、文化の衰退につながる、作家や作品に失礼である、というものであった。一方で賛成意見は、無料で作品を利用できる、便利であるなど主観的な意見が多かったことに加え、海賊版サイト自体に違法性はあるものの、利用する分には問題ないのではという意見もみられた。また、立場的には海賊版サイトに反対としながらも、その利便さや手軽さから利用してしまふという意見も複数得られた。

アンケートから見る

まず、海賊版サイトに対する利用状況や意見についてのアンケート結果を示す。あなたの考えと照らし合わせてみてほしい。

不正公開 後絶たず

朝日新聞二〇一九年一月六日朝刊
(朝日新聞記事データベース)

漫画村運営者？起訴

キングダム著作権侵害

朝日新聞二〇一九年一月六日朝刊
(朝日新聞記事データベース)

コミック配信 急拡大

「漫画村」閉鎖で5割増収
若者、スマホ購入定着

日本経済新聞二〇一九年一月三日朝刊
(日本経済新聞記事データベース)

「漫画村」元運営者に逮捕状

比で拘束、強制送還へ

読売新聞二〇一九年七月二〇日朝刊
(読売新聞記事データベース)

海賊版サイトを
集英社など提訴
読売新聞二〇一九年九月一八日夕刊
(読売新聞記事データベース)

ダウンロード「軽微」なら容認
文化庁、報告書に明記

海賊版対策で法改正へ
日本経済新聞二〇二〇年一月七日朝刊
(日本経済新聞記事データベース)

軽微なダウンロード 容認

東京新聞二〇二〇年一月七日朝刊
(産経新聞データベース)

「第二の漫画村」出現被害なお

産経新聞二〇一九年七月二九日朝刊
(産経新聞記事データベース)

星野被告起訴内容認める

「漫画村」元運営者？初公判

朝日新聞二〇一九年二月一七日朝刊
(朝日新聞記事データベース)

「漫画村」実行役
求刑1年6ヵ月

著作権法違反の罪
朝日新聞二〇一九年二月一五日朝刊
(朝日新聞記事データベース)

マンガ海賊版サイト摘発

著作権法違反容疑 海外向け最大規模

読売新聞二〇一五年一月二三日夕刊
(読売新聞記事データベース)

「まとめサイト」多額収入か

星野容疑者「漫画村」と手法共通

朝日新聞二〇一九年九月二六日朝刊
(朝日新聞記事データベース)

海賊版サイト対策で報告書

産経新聞二〇二〇年一月二七日朝刊
(産経新聞データベース)

『漫画を読むなら』

娯楽が溢れる現代社会。インターネットの普及により、小説、漫画、映画や音楽が端末一つで楽しめるようになった。誰もが気軽にコンテンツを楽しむ時代なのだ。一方で作品の違法アップロードによる著作権侵害が深刻な問題になっている。とりわけ海賊版サイトの台頭は著しい。海賊版サイトによる被害は甚大であり、出版業界は大打撃を受けている。作品、文化を守るために今何が求められているのだろうか。海賊版サイトに対する理解を深め、答えを探していきたい。

ダウンロード規制拡大 賛否

読売新聞二〇一九年一月三一日朝刊
(読売新聞記事データベース)

海賊版サイトによる被害

海賊版サイト「はるか夢の址(あと)」による被害は731億円、「漫画村」による被害は3200億円といわれている。サイトの収益はすべて運営者のものとなり、漫画家や出版社には一切還元されない。この状況が続けば、新しい作品は生まれなくなってしまう。海賊版サイトを利用することは、漫画文化そのものを壊す行為といっても過言ではない。

出版社、政府の対策

海賊版サイトは利用者が多いほど運営者の利益を生む。そのため政府や出版社は読者に海賊版サイトを利用しないよう呼びかけている。

出版社

- 出版社15社の団体である「コミック出版社の会」が「海賊版サイト対策に関する緊急声明」を発表（2018年）
- 集英社、KADOKAWAなどの出版社が連携し、慶應義塾大学の研究所において海賊版対策の勉強会を発足（2018年）
- 講談社は被害の拡大を防ぐため「はるか夢の址」に対して法的追及、勝訴（2019年）

政府

政府は海賊版サイト対策として著作権改正法案の提出と承認を目指していた。それに関する政府内の報告書ではダウンロード違法化の拡大にも言及している。現在、音楽と映像だけである違法ダウンロードの対象範囲を拡大し著作物全般を対象にすべき、という内容だ。注目したいのは報告書作成の過程において、漫画や出版物を扱う組織（日本マンガ研究会など）が意見書や声明を続々と発表した点である。研究活動や創作活動、日常生活に影響を与えることを懸念し、全面的な違法化に異議を唱えたのだ。これらの反応を受け、関係者の理解が得られていないとして法案提出は見送られた。その後政府は、違法画像が入りこんだスクリーンショットなどの軽微な違法ダウンロードを対象外とする方針を示すとともに、その範囲についてさらに検討を進めている。

海賊版サイトの種類

海賊版サイトはネット上のあらゆるところに潜み、多くの利益を手に入れている。
あなたも知らないうちに海賊版サイトを利用しているかもしれない。

△リーチサイト△

違法アップロード作品を保管するウェブページのURLを多数掲載している。利用者はそのURLをもとに保管ページから海賊版データをダウンロードする。利用にはクレジットカードなどの個人情報流出の可能性が伴い、非常に危険である。海外サーバーを介した二重のシステムであるがゆえに法律に抵触しづらく、削除要請しか対応策がないため対処が非常に困難であるのが現状だ。

△オンラインリーディングサイト△

スマホなどによるアクセスで簡単に違法アップロード漫画を読むことができる。運営者の主な収益源は広告表示である。また、サイトに組みこんだウイルスにより、閲覧者の端末で強制的に発行させた仮想通貨も利益の一部となっている。このウイルスによる強制操作は、端末の処理能力を落とすなどの被害を生む。また運営者は、身元を隠すために海外のサーバーを利用することが多い。

△動画投稿サイト△

YouTubeなどの動画投稿サイトも作品の違法アップロード先として利用されている。この場合、漫画は紙芝居化され動画として投稿される。サイトを一から設営する必要がないため誰でも気軽にアップロードでき、さらに広告収入によって利益を得られる。また、広く利用されているサイトから閲覧が可能であるため、有害なウイルスや詐欺の被害に遭いづらいことから利用してしまう人も多い。

△ネタバレサイト△

発売日前の雑誌の一部分を掲載し、続きを早く知りたい読者からのアクセスで利益をあげるサイト。大手サイトが摘発されたことにより、多数の同様のサイトが自主閉鎖したが、感想サイトと名を変え現在も存在している。

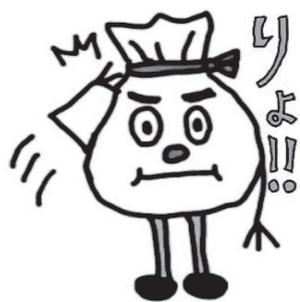
△P2P△

Peer to Peerの略。Peerは同僚・友人の意で、ネット上で複数のユーザーが違法アップロード作品を共有するシステムである。特別なソフトウェアを入手する必要があり、ウイルスにかかる可能性も高いのでユーザーは限られている。

△詐欺サイト△

無料で漫画が読めると称しクレジットカードの情報登録をさせ、金銭を騙し取るサイト。実際に漫画を読むことはできないが、被害者も海賊版を利用しようとした負い目があるため被害は訴えられにくい。

出版業界は海賊版サイトをどのように捉えているのだろうか。 講談社のヤングマガジン編集部で活躍する鈴木氏に話を聞いた。



鈴木綾一（すずき りょういち）
講談社投稿サイト事業チーム長
兼ヤングマガジン編集部副編集長。
1981年愛知県生まれ。慶應義塾
大学大学院文学研究科国文学専攻修
士課程修了後、2006年講談社に
入社し週刊少年マガジン編集部配
属。2014年ヤングマガジン編集
部へ異動。2018年から現職。主
な担当作品に『神さまの言うとおり』
『僕たちがやりました』『ギャルと恐
竜』など。

海賊版サイトが出現したことによる
被害に対してどう思われていますか。

鈴木氏（以下、鈴木）…どうと言われても
漠然としてますが…完全な違法行為な
ので「違法行為だな」としか思いません。
作品をお預かりしマネタイズして還元す
るのが出版社の重要な役割なので、肅々
と適切な対策を打っていくしかないと思
っています。

海賊版サイトを見る一般の人たちに
対してはどう思われていますか。

鈴木…ごく個人的な意見として、ある意
味において出版社にも責任の一端はある
と思っています。1巻無料施策などの際
に、無料でコンテンツが楽しめるという
ことが特別なことである、もしくは理由
があるということ啓蒙してこれなかつ
た。たとえばスーパード大根が0円で売
られてたら「え？」ってなりますよね。
つまりスーパードでは基本的に0円では物
を買えないことが常識なのです。漫画村
など「すべて無料」ってことが「何かお
かしいぞ」に繋がらない考え、空気を（出
版社が）作っちゃったんじゃないかなと
思っています。

海賊版サイトを利用することが違法
ではないとしても、読者に意識の変化な
どは必要なのでしょうか。

鈴木…もちろん理想論としては、違法サ
イトは利用しないでくださいと言いつつ
ることで違法サイトの利用を止められる
ことが一番です。でもそれは犯罪は
やめましようと言つて犯罪が少なくなる
のかという議論に近い。

学生さんに限つていえば、もし無料で何
かを楽しめるものに出くわした際には、
それがなぜ無料なのかを考える習慣をつ
けてほしいと思います。

1巻無料とか無料施策というのは
売上向上のために始めたんですかね。

人がいなくなってしまうことの方がピン
チだと、僕は思います。すごく痛し痒し
なだけで、海賊版サイトによって読書
習慣が戻った人もいないという説もなくは
ない。その証拠になるかはわかりませ
んが「漫画村」が閉鎖したあとの電子書籍
売り上げがめちゃくちゃ伸びたんですよ。
繰り返しになるけど、今一番懸念してい
るのは、若年層を中心に「漫画を読めな
い人」が増えてるってことです。

違法とはいえ、海賊版サイトも良い
影響を与えたところはあるかもしれな
いということですか。

鈴木…まあひとつの暴論なので「あるか
もしれない」っていう程度ですね。無料
でなんでも読めるっていうものがこの世
に存在したら、学生など特にお金がない
層に、読んでほらえるってことはわかっ
たわけですよね。つまり漫画は分野とし
て人気エンタメであると。であるならば、
その層に対して今後、どういったアプロ
ーチをしていけば、今後の未来のクリエイ
ターも育つし、ちゃんと漫画家は儲かるっ
ていうスキームになるのかを徹底的に突
き詰めていきたいです。講談社に限らず、
各社何かしら模索はしていますね。

最後に、読者に漫画とどう接してい
てほしいか教えてください。

鈴木…ご自由にどうぞ、って言うしか
ないです。僕は僕で出版社員として書籍や
漫画やアニメに興味を持ってもらう努力
はしていきます。入社動機が「漫画家
であること漫画家になることが夢と誇り
のあるもので在り続ける土壌の維持」な
のですが、それは今も変わっていません。
まあでも、エンタメは、食料やインフラ
と違い「この世になくてもいいもの」な
のです。でも、だからこそ人生を豊かに
するものだと思います。活字離れ、漫画
離れている人には「もう一度読んでみ
てください。思ったよりおもしろいよ」っ
ていうことだけかな。あらゆるエンタメ
を適切な経済スキームのなかで楽しんで
ほしいな。好き嫌いや選り好みをしな
い方が、人生が豊かになります。
今はエンタメも供給過多の時代ですが、
そのなかに漫画も入っていれば嬉しいで
すね。

ありがとうございました。

完全撲滅は難しいということでは
うか。

鈴木…そうですね。本当の意味で巨視的
に漫画家さんの利益の最大化を考えた
ときに、少し暴論ですが、海賊版が一切な
くなるよりは、漫画を読める能力がある

現在出版社としてさまざまな対策を
進められていると思うのですが、これか
ら海賊版サイトは落ち着いていくと思わ
れますか。

鈴木…もちろんもちろん。でもサイトの
存在をどう思っているかは千差万別です
ね。ごく少数ながら、むしろ海賊版でも
読まれた方がいいという人もいます。広
まることで単行本が売れることもあるの
で。お金が儲かるからという理由で漫
画家になった人もいますし、ただ漫画を
読みたいという人にもいますし、その辺のレイヤーや温
度感はずごく複雑ですよね。

鈴木…思いますね。先も言いましたが、
ブロックチェーンとか、AIによる自動
削除とかが進化していくんで…でも完
全にはなくせない、気はしています。ど
のような種類の犯罪であれ、0になった例は
歴史上ないですか。

漫画家の方々と海賊版サイトなどの
存在についてお話しすることはあるの
でしょうか。

漫画に限らず、何にせよ、それが経済的
にどういう風に成り立って、どういう風
にお金が動いて、誰が対価を払い、誰
が享受しているのかということを考えて
方が、将来役に立つと思います。もう少
し賢く生きられたりとか、今後自分が企
業に入ったりとか会社を立ち上げたりと
かする際に、正しい戦略が考えられるん
じゃないかって思います。
海賊版サイト問題をきっかけに、もっと
広い視野で、経済活動について考えてみ
てほしいです。誰もがそこを気にしなく
なったときに、文化やエンタメは確実に
死にます。

✓ 海賊版サイトについて考えるヒント



※ ABJ=Authorized Books of Japan

「ABJマーク AEBS 電子出版制作・流通協議会」
https://aebs.or.jp/ABJ_mark.html

○ABJマーク

ABJ (Authorized Books of Japan) マークは、適法の電子出版物のみを提供しているサービス（サイト、アプリなど）に掲示が許可されるマーク。CMでも有名な「コミックシーモア」「めっちゃコミック」「Renta!」なども、ABJマークの使用許可を得ている。このマークは、いわばそのサービスを安心して利用できることの目印だ。日頃意識することは少ないかもしれないが、利用者、そして作品を守るためにこのようなマークが定められていることをぜひ覚えておきたい。

○STOP！海賊版

出版広報センターが「STOP！海賊版」としてサイトやTwitterアカウントで情報を発信している。広報活動には、出版各社の有名キャラクターも起用されている。以下のURLからぜひ参考してほしい。

- ・「STOP！海賊版」サイト→<https://shuppankoho.jp/damage/>
- ・「STOP！海賊版」Twitterアカウント→@stopkaizokuban

✓ 最後に

海賊版サイトの形態を知った。被害を知った。対策を知った。被害を受ける側の考えを知った。さあ、あなたはどう思っただろうか。やはり海賊版サイトは悪だと感じたかもしれない。違法だ、ダメだとどれだけ言われても、それでも海賊版サイトを使うことに正しさを見出したかもしれない。ただ、これだけは忘れないでほしい。海賊版サイトを利用するということは経済の根本的な原理を無視しているということ。それがいつか、私たちが育んできた文化を失う結末に繋がりがかねないということ。

一人ひとりの海賊版サイトに対する考え方は異なる。しかし「海賊版サイトはなぜ社会的に許されざる存在とされているのか」を知ることは必要だろう。ここでは本企画の考察をまとめた。

✓ 考察：なぜ海賊版サイトは「悪」なのか

海賊版サイトを一概に是非で判断することは難しい。海賊版サイトのメリットとして、普段漫画を読まない人々や日本の漫画を手に入れられない海外の人々が漫画を知るきっかけになるという見方もある。しかし海賊版サイトは、商品に対して対価を支払うという経済の当然のシステムから外れている存在だ。

通常、書籍が読者に届くには以下の工程を経る（図参照）。著者だけでなく出版社、印刷所などさまざまな人々が出版に関わっているのだ。書籍が売れることで読者から書店へ、書店から出版社へとお金が動き、最終的に売り上げの一部がこれらの人々の収入になるのである。一方で海賊版は「海賊版サイトの種類」の項で説明した通り、通常のルートは通らず海賊版サイト運営者のみに利益が入るパターンが多い。

書籍にしろ音楽にしろ、その出版や販売を生業とする人々がいる。彼らの利益が損なわれ続けられれば、新たな作品を生み出すための資金は失われていき、文化は衰退の一途をたどるだろう。海賊版サイトは、日本が誇る創作の文化を破壊する存在なのである。

✓ 書籍が読者に届くまで

作家→

出版社
(編集者、デザイナー、校正者など)

→製版所→印刷所→製本所→取次→書店→読者